

スケールアップ

- マネージメントコンソールやAPIからスケールアップ可能
 - インスタンスタイプ変更時はインスタンス再起動で機能停止する（マルチAZで軽減可能）
 - コマンドライン (AWS CLI) から可能

```
$ aws rds modify-db-instance ¥  
  --db-instance-identifier test-db --db-instance-class db.m3.2xlarge ¥  
  --apply-immediately
```

- スケールダウンも可能
 - 一時的にインスタンスタイプを大きくして、その後戻すことも可能
 - 開発DBを日中だけ大きくして、使わない夜間は小さくする etc..
 - ストレージサイズは、拡張はできるが縮小はできない
- インスタンスタイプを変更すると、CPUとメモリだけでなくディスクI/O帯域やネットワーク帯域も変更される

